

対象者の方へ

鏡野町 健康推進課
健康指導支援係

HPV ワクチンキャッチアップ接種についてのお知らせ

HPV ワクチンは子宮頸がんの原因と考えられる HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を防ぐワクチンです。ワクチン接種を受けることで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されています。平成 25 年から HPV ワクチンの積極的勧奨差し控えが行われていましたが、令和3年11月より HPV ワクチンの予防接種が推奨されるようになりました。

HPV ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して公平な接種機会を確保する観点から、対象期間にあたる方へワクチン接種をご案内いたします。

各ご家庭でご検討のうえ、接種を希望される方は、かかりつけ医師へご相談ください。

このお知らせは住民基本台帳をもとに対象となる生年月日の住民の方全員に送付しています。すでに接種をされている方や接種を希望されない場合は、ご了承ください。

*HPV キャッチアップワクチン接種対象年齢及び期間・費用

案内対象者 平成9年4月2日 ~ 平成18年4月1日生まれの女子
(平成9年度生まれ ~ 平成17年度生まれの女子)

接種の期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日までの**3年間**

予防接種の費用 **無料**

***接種スケジュール** 日本で使われているワクチンは2種類あり、半年~1年の間に3回接種します。他の予防接種との接種間隔にご注意ください。



※ともに1年以内に接種を終えることが望ましいです。

※使用するワクチンは医療機関によって異なります。

注意！

キャッチアップ接種対象者のうち、HPV ワクチンを過去に1回又は2回接種したあと、接種を中断し3回接種までのスケジュールを完了していない方

★1回又は2回接種した後の接種間隔にかかわらず、キャッチアップの対象になります。

★接種を初回からやり直すことなく残りの回数の接種（2，3回目又は3回目）を行います。

裏もご覧ください

* 町内の接種医療機関

※接種については、事前に必ず医療機関へ連絡をしてください。
また、接種時の保護者の同伴については、各医療機関へご確認ください。

医療機関名	電話番号
芳野病院	0868-54-0312
山田医院	0868-54-0019
鏡野病院	0868-54-0011
武田医院	0868-54-0552

◎町外の医療機関でも接種できます。各医療機関
にお問い合わせください。

※県外の医療機関で接種を希望される場合は、手
続きが必要なため、2週間前までに健康推進課へ
ご連絡ください。

● 予防接種を受ける際には ●

- ・母子健康手帳、健康保険証、予診票をご持参ください。
- ・16歳未満の方は基本的に予診票への保護者の同意の署名や、受診の際の同伴が必要です。
- ◆予防接種は体調の良い時に受けましょう。万一、接種後にひどい腫れ・高熱・ひきつけなどの症状があった場合は、医療機関等へ相談をしてください。

※HPVワクチンのリスクとして、多くの方に、接種部分の痛みや腫れなどの症状が起こることがあります。筋肉注射のため、インフルエンザの予防接種と比べて、接種時に痛みが強いと感じる方もいます。また広範囲の痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動等や、まれに重い症状が起こるとの報告もあります。ワクチン接種が原因となったものかどうか不明なものも含めて、接種後の重篤な症状として報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり5人です。ワクチンは合計3回接種しますが、1・2回目に気になる症状があれば、それ以降の接種をやめることもできます。気になる症状が出た時は、接種を行った医療機関等に相談しましょう。(他問合せ先については、同封のリーフレットをご覧ください。)

● 予防接種を受けることが適当でない方 ●

- ・明らかな発熱(37.5℃以上)がある場合
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ・予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシー(ショック・じんましん・呼吸困難等)を起こしたことがある場合
- ・その他、予防接種を受けることが不適当な状態の場合

● 料金の払い戻しについて ●

※平成9年度生まれ～平成17年度生まれの女性で、定期接種の対象年齢を過ぎて(高校2年生相当以降)HPVワクチンを国内で自費で受けた方は、かかった費用のうち規定の額を払い戻すことができます。
詳しくは鏡野町のホームページをご確認ください。

《子宮頸がんについて》

HPV(ヒトパピローマウイルス)は、女性の多くが“一生に一度は感染する”と言われていています。感染してもほとんどの人は自然に消えますが、一部の人で子宮の入口付近にできる子宮頸がんとなってしまう場合があります。患者さんは20歳代から増え始め、毎年10,000人以上の女性が子宮頸がんになり、約2,800人の方が亡くなっています。30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も、毎年約1,200人いるため、子宮頸がんは予防と早期発見がとて大切です。

HPVワクチン接種後においても、子宮頸がん検診を行いましょう!



◆問い合わせ

鏡野町 健康推進課 保健師まで

電話 0868-54-2025 FAX 0868-54-2891